

5月末までに提出して下さい。(厳守)

記入例

令和●年●月●●日

北九州市長 武内 和久 様

〒●●●●-●●●●

所在地 北九州市●●区●●町●-●

企業名 株式会社●●●●

代表者役職 代表取締役社長

氏名 北九 一郎

事業報告書(第8号様式別紙1)と同じ内容として下さい。

省エネ活動実績報告書

事業実施年度を記入して下さい。  
※令和5年度補助事業者が対象です。

1 事業概要

設備を設置した事業所	所在地	北九州市●●区●●町●-●	
	名称	株式会社●●●● ■■サービスセンター	
	報告者(役職・氏名)	●●係長 ●●●●	
	連絡先	TEL 093-●●●●-●●●●	
事業実施年度	令和5年度	補助金交付額	4,500千円
導入設備の概要	① 電力関連設備	太陽光発電設備 蓄電池システム	合計●kW 合計●kWh
	② エネルギー関連設備①	高天井用LED照明	合計●台
	③ エネルギー関連設備②	高効率空調機	合計●台
	④ エネルギー関連設備③	木質バイオマスボイラ	合計●台
	⑤ 電動車 +V2H充放電器	日産リーフNISMO+DENSO DNEVC-D6075	

2 脱炭素電力受給の証明について

電力会社からの証明書等(写し)を必ず添付してください。

3 省エネ推進計画に基づく活動状況

申請時に提出いただいた、省エネ推進計画書に基づく設備更新及び各月の活動について、別紙報告書(2頁目)に記入ください。

〈通信欄〉1年間の活動を振り返り、お気づきになった事等などがあればご記入ください。

※3頁目は、貴社の電力契約により低圧と高圧のどちらかを選択して記入してください。  
なお、低圧と高圧両方を契約している場合は、各々に記入してください。

省エネ推進計画書で登録した内容をそのまま記入してください。

太枠線内の項目を記入してください。

実施済の場合は完了年月を記入ください。  
延期（中止）した場合は、その理由も含め変更後の  
予定年度上期/下期等を記入してください。

記入例

令和5年度 省エネ推進計画進捗表

企業名：株式会社●●●●●

省エネ設備更新計画		令和5年度	令和6年度	令和7年度	結果
更新計画	F-0	工場水銀灯LED化・事務所空調・ボイラー更新、太陽光発電・蓄電池新設	令和6年1月完了		
	F-1	工場の空調機器更新		下期実施予定	
	F-2	工場及び事務所棟の遮熱・断熱工事			上期実施予定
	F-3				

各月毎の取組状況は、プルダウンメニューから選択します。

省エネ対策・活動項目		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	達成数	
全体	A-1	安全・衛生委員会等で省エネ活動の点検を行っている。							○	×	×	×	○	2	
	A-2	エネルギー使用量（光熱費）を職員へ周知している。							×	○	○	○	○	4	
	A-3	省エネ活動の掲示を行なっている。（節電、節水など）							×	×	×	○	○	2	
	A-4	エネルギーマネジメントシステム機器のデータをグラフ化し掲示する。（毎月更新）							○	×	○	×	○	3	
	A-5	EMS機器のデマンド監視機能により警報が出た場合は空調等を一部停止する							○	-	-	○	-	2	
照明	B-1	人感センサーを設置している。（玄関、トイレなど）							○	○	○	○	○	5	
	B-2	外灯の点灯時間を季節に合わせて設定している。								×	×	×	×	0	
	B-3	照明器具に引き紐をつけ、個別消灯できるようにしている。（事務所など）							○	○	○	○	○	5	
	B-4	業務に影響の少ない箇所（廊下、ロッカー上部など）の照明を消灯している。							×	×	×	×	×	0	
	B-5													0	
空調	C-1	空調機フィルターを定期的（2ヵ月毎）に清掃している。								-	-	×	○	○	2
	C-2	室内機、室外機周辺の障害物を撤去している。								-	-	-	○	○	2
	C-3	室外機に日よけを設置し、直射日光を遮断している。								-	-	○	×	○	2
	C-4	冷暖房の適正な温度設定を行う。（冷房28℃、暖房19℃程度）								△	×	×	×	×	0.5
	C-5														0
電動車	D-1	電動車の使用実績（毎月の走行距離等）を記録する。							○	○	○	○	○	5	
	D-2	V2H充電器の活用実績（建物への放電や電力量）を記録する。							○	○	○	○	○	5	
その他	D-1	休日、夜間など、給湯設備などを停止している。							-	-	-	-	-	0	
	D-2	プリンターやコピー機など、省電力モードに設定している。							○	○	○	○	○	5	
	D-3	パソコンやモニターなどは、退社する時にコンセントを抜いている。							△	△	△	△	△	2.5	
	D-4	トラックの運行管理を通じて、ガソリン消費を削減している。							△	×	×	○	○	2.5	
	D-5													0	

各項目は、省エネ推進計画書で登録した内容をそのまま記入してください。

達成した割合を記入してください。  
例) ほぼ達成できた（80%以上）・・・「○」  
概ね達成できた（80%未満50%以上）・・・「△」  
あまり達成できなかった（50%未満）・・・「×」  
該当なし・・・「-」  
※セルをクリックすると「○」「△」「×」「-」が選択できます。

※ 項目数/達成度は自動的に計算します。

実行できた項目数 (P)	0	0	0	0	0	0	0	0	9.5	6.5	8.5	11.5	13.5
目安となる項目数 (Q)	0	0	0	0	0	0	0	0	14	14	16	18	17
達成度 (P/Q)									68%	46%	53%	64%	79%

該当する年度を記入下さい。

関係する項目について記入してください。

3 年間エネルギー使用量(注)

項目	電気 kWh/年	都市ガス m <sup>3</sup> /年	LPG kg/年	灯油 l/年	水道 m <sup>3</sup> /年	太陽光発電量 kWh/年
【事業実施前:②の1年前】 ① 年度 エネルギー使用量	118,000					
【事業実施後:事業実施年度】 ② 年度 エネルギー使用量	102,798					
【削減効果】②-①	-15,202					
【事業実施後:②の1年後】 ③ 年度 エネルギー使用量						
【削減効果】③-①						

申請時(第2号様式 省エネ効果(2)に記載の数値)と同じになります。

事業実施年度の電力会社請求書より、4月分～翌年3月分の合計を記入します。

削減効果はEXCELにより自動的に計算されます。

事業実施の翌年度の電力会社請求書より、4月分～翌年3月分の合計を記入します。

削減効果はEXCELにより自動的に計算されます。

※網掛けの部分は自動的に計算されます。

(注)設備更新によりエネルギー形態が変わった場合(例:灯油から都市ガスに変更など)は、使用量を熱量(J)に換算しさらに電力量(kWh)に換算して、削減効果(省エネ効果)を算出してください(別紙記載可。様式自由)。

4 電力使用量等詳細(報告書提出当該年度)

電力会社請求書より、報告書提出当該年度の各月の電灯及び動力の電力使用量を記入します。

【低圧】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
電灯(kWh)	1,680	1,650	1,655	1,650	1,680	1,602	1,641	1,670	1,650	1,600	1,650	1,640	19,768
動力(kWh)	5,010	5,480	7,090	7,140	7,990	7,720	6,370	6,790	7,910	7,190	7,580	6,760	83,030
												合計	102,798

※本実績報告書提出の際には電気料金請求書兼領収証の写し(当該年度の4月～3月分)を添付してください。

【電動車、V2H充電器の活用状況】該当する企業は可能な限りデータを把握・記録してください。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
走行距離(km)	323	285	330	352	320	298	155	365	385	354	332	253	3,752
建物への放電電力(kWh)	1,630	1,680	1,650	1,655	1,650	1,680	1,602	1,641	1,670	1,650	1,600	1,650	19,758

5 補助金を活用して事業を実施した感想

事業効果や従業員の変化などをお聞かせください。  
記載いただいた内容は、北九州市中小企業高度エネルギーマネジメント推進支援事業のPR等のため、使用させていただく場合があります。

〈事業効果〉

コスト削減ならびにCO2排出量の削減がデータで確認できたことにより、さらなる取り組みに向け社内の検討委員会を立ち上げたところです。

〈従業員の意識の変化等〉

市の補助金を得て省エネ設備を更新したことが理解されており、家庭における省エネの取り組みにつながっている。

☆事業実施後2年間、この報告書の提出をお願いします。

1回目提出期限：事業実施後最初に到来する5月末日

2回目提出期限：事業実施後2度目の5月末日

注1)シートは保護されています。(必要な場合は保護を外してください。)

注2)電気以外の省エネ設備を更新した場合は、該当するエネルギー(都市ガス・LPG・灯油・水道)の月次毎の使用量が判るように請求書等を添付してください。

該当する年度を記入下さい。

関係する項目について記入してください。

3 年間エネルギー使用量 (注)

項目	電気 kWh/年	都市ガス m <sup>3</sup> /年	LPG kg/年	灯油 ℓ/年	水道 m <sup>3</sup> /年	太陽光発電量 kWh/年
【事業実施前:②の1年前】 ① 年度エネルギー使用量	118,000					
【事業実施後:事業実施年度】 ② 年度エネルギー使用量	102,798					
【削減効果】②-①	-15,202					
【事業実施後:②の1年後】 ③ 年度エネルギー使用量						
【削減効果】③-①						

※網掛けの部分は自動的に計算されます。

(注)設備更新によりエネルギー形態が変わった場合(例:灯油から都市ガスに変更など)は、使用量を熱量(J)に換算しさらに電力量(kWh)に換算して、削減効果(省エネ効果)を算出してください(別紙記載可。様式自由)。

電力会社請求書より、報告書提出当該年度の各月の契約電力・最大需要電力・電力使用量を記入します。

4 電力使用量等詳細(報告書提出当該年度)

【高圧】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
契約電力(kW)	669	713	875	879	967	932	801	846	956	879	923	840	—
最大需要電力(kW)	558	594	729	733	806	777	668	705	797	733	769	700	—
電力使用量(kWh)	6,690	7,130	8,745	8,790	9,670	9,322	8,011	8,460	9,560	8,790	9,230	8,400	102,798

※本実績報告書提出の際には電気料金請求書兼領収証の写し(当該年度の4月～3月分)を添付してください。

【自動車、V2H充電器の活用状況】該当する企業は可能な限りデータを把握・記録してください。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
走行距離(km)	323	285	330	352	320	298	155	365	385	354	332	253	3,752
建物への放電電力(kWh)	1,630	1,680	1,650	1,655	1,650	1,680	1,602	1,641	1,670	1,650	1,600	1,650	19,758

5 補助金を活用して事業を実施した感想

事業効果や従業員の変化などをお聞かせください。  
記載いただいた内容は、北九州市中小企業高度エネルギーマネジメント推進支援事業のPR等のため、使用させていただく場合があります。

〈事業効果〉

コスト削減ならびにCO2排出量の削減がデータで確認できたことにより、さらなる取り組みに向け社内の検討委員会を立ち上げたところです。

〈従業員の意識の変化等〉

市の補助金を得て省エネ設備を更新したことが理解されており、家庭における省エネの取り組みにつながっている。

☆事業実施後2年間、この報告書の提出をお願いします。

1回目提出期限：事業実施後最初に到来する5月末日

2回目提出期限：事業実施後2度目の5月末日

注1)シートは保護されています。(必要な場合は保護を外してください。)

注2)電気以外の省エネ設備を更新した場合は、該当するエネルギー(都市ガス・LPG・灯油・水道)の月次毎の使用量が判るように請求書等を添付してください。